

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成25年度採択課題）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
25-3	事故発生位置情報を用いた事故分析総合システムの研究開発	東京大学 特任教授 山田 晴利	A

<研究の概要>

これまでの事故データでは、事故発生位置がわかるのは道路管理者がマッチング作業を行って位置情報を付与している一般都道府県道以上の道路での事故のみであり、これ以外の道路の事故発生場所は不明で、場所を特定しての分析はできなかつた。2012年から全ての人身事故について発生位置が付与されるようになったので、地理情報システム(GIS)を援用し位置情報の入力支援・品質管理から分析まで網羅できる、わが国初の総合的な全国事故分析システムを研究・開発する。これは事故分析のもっとも基本的な情報基盤であり、細街路、ゾーン30等これまで十分な分析が行えなかつた道路、地域を対象とした分析に加えて、ヒヤリ・ハットデータやドライブレコーダのデータとの連携、沿道の建物用途・土地利用形態・道路線形との関連分析を可能とし、「幹線道路と生活道路における事故対策の展開」に寄与する。

<中間評価結果>

現行のとおり推進することが妥当と評価する。

<参考意見>

1. 細街路等での事故の分析は、データの精度上から困難と想定されるため、本研究による分析システムの適用限界として、分析の解像度や対象道路の限定について、成果報告書の中に明記するよう、願います。
2. 行政現場における交通安全を進める上で、使いやすいシステムとすることを念頭に進めていただきたい。